

ドレスデン、運命の日 (2006)

DRESDEN

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争 ロマン스

製作国 ドイツ

色彩 Color

時間 150分

初公開日 2007/04/21

公開情報 アルバトロス・フィルム

【キャッチコピー】

美しいその街は、
一夜で崩壊した

【解説】

これまで、第二次世界大戦に対してはナチスが行った戦争犯罪を踏まえて、おもに加害者の立場から歴史の検証と反省が進められてきたドイツ。そして、戦後60年を経てようやく少しずつ加害者・被害者の立場を越えて、戦争が引き起こす悲劇そのものに目を向ける気運も芽生え始めきたといわれる。本作はそうした流れの中、第二次世界大戦末期の“ドレスデン空襲”という悲劇を初めて真正面から取り上げ話題となった戦争叙事詩。イギリス軍による壮絶な空爆で、一夜にして廃墟と化したドレスデンの街を舞台に、婚約者がありながら敵国の負傷兵と恋に落ちるヒロインの波乱の運命を描く。監督は「トンネル」のローランド・ズゾ・リヒター。

第二次大戦末期の1945年1月。美しい文化都市ドレスデンにも戦火の脅威が迫っていた。父が営む病院で看護婦として働くアンナは、次から次へと運ばれてくる患者の対応に追われながらも、恋人の外科部長アレクサンダーを献身的に支えていた。そんなある日、アンナは病院内に身を隠していた兵士ロバートと出会う。負傷している彼を脱走兵と勘違いしたアンナは、彼を匿いつつ傷の手当てをする。やがてロバートが憎むべきイギリス兵だと気づいたアンナだったが、思いがけず彼に心惹かれてしまうのだった。

【クレジット】

監督	ローランド・ズゾ・リヒター	Roland Suso Richter	
製作	ニコ・ホフマン	Nico Hofmann	
	サーシャ・シュヴィンゲル	Sascha Schwingel	
	ニコラス・クラエマー	Nikolaus Kraemer	
脚本	シュテファン・コルディッツ	Stefan Kolditz	
撮影	ホリー・フィンク	Holly Fink	
音楽	ハラルド・クローサー	Harald Kloser	
	トーマス・ワンカー	Thomas Wanker	
出演	フェリシタス・ヴォール	Felicitas Woll	アンナ
	ジョン・ライト	John Light	ロバート
	ベンヤミン・サドラー	Benjamin Sadler	アレクサンダー
	ハイナー・ラウターバッハ	Heiner Lauterbach	カール
	カタリーナ・マイネッケ	Katharina Meinecke	
	マリー・ボイマー	Marie Baumer	
	カイ・ヴィージンガー	Kai Wiesinger	

ユルゲン・ハインリッヒ	Jurgen Heinrich
ズザーヌ・ボアマン	Susanne Bormann
ヴォルフガング・シュトゥンプ	Wolfgang Stumph
ベルト・ベーリッツ	Bert Bohlitz
クリスチャン・ロドスカ	Christian Rodska